

日 本 史

注 意

1. 問題は全部で10ページである。
2. 解答用紙に氏名・受験番号を忘れずに記入すること。(ただし、マーク・シートにはあらかじめ受験番号がプリントされている。)
3. 解答はすべて解答用紙に記入すること。
4. 解答用紙は必ず提出のこと。この問題冊子は提出する必要はない。

マーク・シート記入上の注意

1. 解答用紙(その2)はマーク・シートになっている。HBの黒鉛筆またはシャープペンシルを用いて記入すること。
2. 解答用紙にあらかじめプリントされた受験番号を確認すること。
3. 解答する記号・番号の○を塗りつぶしなさい。○で囲んだり×をつけたりしてはいけない。

解答記入例(解答がイのとき)

1	●	○	△	□	◇	▽	◇
---	---	---	---	---	---	---	---

4. 一度記入したマークを消す場合は、消しゴムでよく消すこと。×をつけても消したことになる。
5. 解答用紙をよごしたり折り曲げたりしないこと。

I 次のA～Dの文章を読み、あとの設問に答えなさい。

A 中国の歴史書によれば、三世の倭は女王が統治し、海を越えて外国に使者を送るまでに成長していた。^①『魏志倭人伝』に、「景初二年六月、倭の女王、大夫難升米等を遣し、郡に詣り、天子に詣りて朝献せんことを求む。太守劉夏、吏を遣し、^②将て送りて京都に詣らしむ。」と書かれているように、239年、女王卑弥呼は魏に使者を派遣している。^③この結果卑弥呼は、魏から特別な称号が与えられて、倭の支配者としての地位を正当化された。また、247年に送った使節で、卑弥呼は「ア」と対立していることを訴えたが、これに応じた魏はわざわざ使者を送り、卑弥呼を積極的に支持する詔書を与えている。中国の王朝が、日本列島の戦闘に関与する場合もあった。

B 7世紀後半、朝鮮半島では、唐の軍勢が「イ」の軍と連合して百済を攻撃した結果、国王らが捕えられ、ここに百済王朝は滅亡した。これに対して「ウ」天皇は、飛鳥にいた王族の豊璋^{ほうしやう}を帰国させるとともに、大規模な軍勢を朝鮮半島に送り、百済の復興を援助した。これにより、百済の遺臣たちは勢力を回復した。しかし、663年8月、倭の水軍は「a」で唐などの水軍に破れた。中国の歴史書によれば、この戦いで倭の兵船400艘が一度に炎上したという。これによって、倭は大きな打撃を受けた。

C 740年、藤原広嗣が大宰府で兵を挙げた。広嗣は藤原氏の一員として早くから中央政界で活動していたが、738年に大宰少弐に任じられ、都を離れていた。^①挙兵を知った聖武天皇は、「b」を大將軍に任命し、ただちに1万7千の兵を動員して九州に送った。^②一方、広嗣の側も、豊前国を中心^③に多数の地方豪族を指揮下に入れていた。板櫃川^{いたびつ}をはさんで両者の軍勢が対決したとき、広嗣側の兵士は1万人に及んだという。このように、この乱では多くの兵士が戦闘に動員されたが、挙兵から3ヶ月後の同年11月には広嗣が捕えられ、乱は終息した。この間、聖武天皇は10月に平城京を離れ、東国へおもむくが、事件が決着したあとも平城京には戻らず、山背国の「c」京や「エ」の紫香楽宮などを造営し、以後数年間、ここにとどまることになった。

D 10世紀半ばには、日本列島の東西で、相次いで叛乱が起きた。東国では平将門が兵を起し関東地方を制圧したが、同じ頃、瀬戸内海を中心に略奪行為をはたらいていた も、山陽道や南海道の各地を襲撃するようになった。この間、彼は配下の者を京に送り、ひそかに京中で放火を企てたというが、こうして、地方の混乱が直接平安京の貴族にも及ぶことになった。しかし、940年に将門が ・平貞盛^⑤によって討たれ、関東での叛乱が終息したのをきっかけに、朝廷は本格的に追討に乗り出した。彼は、これ以降も大宰府を占拠・放火するなど、各地で抵抗したが、941年、 に任じられた小野好古らの軍勢によって討たれた。

問1 空欄 ～ に入る適当な語句を解答欄に書きなさい。
 解答用紙(その1)を用いること。

問2 空欄 ～ に入る語句として正しいものを、次の語群から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- | | | | |
|-------|--------|-------|--------|
| ① 推古 | ② 藤原純友 | ③ 大和国 | ④ 高句麗 |
| ⑤ 新羅 | ⑥ 伊都国 | ⑦ 齊・明 | ⑧ 檢非違使 |
| ⑨ 狗奴国 | ⑩ 摂津国 | ⑪ 渤海 | ⑫ 天武 |
| ⑬ 源為義 | ⑭ 近江国 | ⑮ 追捕使 | ⑯ 奴国 |
| ⑰ 平正盛 | ⑱ 勘解由使 | | |

問 3 下線部㉓に関して、弥生時代の日本について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ① 農耕具が発達し、湿田に加え、灌漑施設を必要とする乾田の開発が進展した。
- ② 食器などに使用される須恵器が朝鮮半島から伝えられ、さかんに製作された。
- ③ 激しい戦闘が行われたことを反映して、住居を環状に配置する集落が、近畿地方や九州で作られた。
- ④ 石器の構造が精密さを増し、細石器と呼ばれる新たな石器が作られるようになった。

問 4 下線部㉔について、この「郡」とはどこを指すか、その具体的な名称を書きなさい。解答用紙(その1)を用いること。

問 5 下線部㉕の「京都」は、魏の都を指しているが、その具体的な名称を書きなさい。解答用紙(その1)を用いること。

問 6 下線部㉖について、大宰府に関して述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ① 遠の朝廷といわれ、西海道や山陽道の全域を支配した。
- ② 外交使節を迎えるため、大宰府政庁に隣接して大野城が作られた。
- ③ 外国の攻撃に備えるため、大宰府政庁の近傍に水城が築かれた。
- ④ 藤原広嗣と同様に、平安時代には、菅原道真が大宰少貳として赴任した。

問 7 下線部㉔について、聖武天皇に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ① 文武天皇の子として生まれ、母は藤原氏の出身であった。
- ② 元明・元正という二人の女帝の次に即位した。
- ③ 妻である光明皇后は、悲田院を設けて孤児や病人を救済した。
- ④ 仏教に対する信仰が篤く、天皇在位の最後の時期には、東大寺大仏の開眼供養の儀式を挙行了た。

問 8 下線部㉕豊前国は現在の福岡県・大分県の一部を指すが、古代の豊前国について述べた文として正しいものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ① 白山が山岳信仰の拠点となり、各地で多くの石仏が作られた。
- ② 有力な神社として宇佐八幡宮が所在し、朝廷にも重要視された。
- ③ 海に面していたため、海上交通の要衝として博多津が発展した。
- ④ 平安時代になると浄土信仰が広がり、白水阿弥陀堂が作られた。

問 9 下線部㉖に関連して、平安時代の貴族の政治・生活について述べた文として誤っているものを、次の①～④の中から一つ選んでマークしなさい。解答用紙(その2)を用いること。

- ① 政治の中では儀式や祭祀が重んじられ、賀茂祭などが国家の行事として行なわれた。
- ② 貴族の間で極楽往生の教えが広がり、慶滋保胤が『日本往生極楽記』を著した。
- ③ 律令制は変質していたが、天皇中心の政治体制は依然として維持され、特に嵯峨天皇の時代は、延喜・天曆の治と呼ばれて理想的な時代とされた。
- ④ 安和の変では、左大臣であった源高明が失脚し、大宰府に左遷された。

Ⅱ 次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

14世紀に入ると沖縄本島には3つの勢力圏が出現して争っていたが、15世紀前半に [ア] 王の [1] が統一し、琉球王国をたてた。琉球王国は明への朝貢貿易を行い、東アジアと東南アジアを結ぶ中継貿易で繁栄し、 [イ] は王都の外港として重要な国際港となった。しかし、次第にヨーロッパ勢力がアジア貿易に進出し、明朝も弱体化したことなどから、琉球の海外貿易は衰えていった。そして、琉球王国は日本との関係でも苦勞を強いられるようになる。たとえば、16世紀末の豊臣秀吉の朝鮮侵略に際しては琉球に兵糧調達などが強要され、1609年には [2] 氏が江戸幕府の許可を得て琉球に侵略し支配した。 [2] 氏は琉球を独立国として中国との朝貢貿易を続けさせて貿易の利益を吸い上げ、幕府もまた、將軍や琉球王の代替わりごとに江戸に送られる琉球からの使者を、朝鮮から遣わされる [3] と同様に外国使節として扱い、幕府の権威を示そうとした。

一方、古くから北海道、樺太南部、千島列島を生活圏としていたアイヌは、狩猟・漁業を営みながら、津軽、アムール河流域、カムチャッカ半島を交易圏とし、幅広く活躍していた。しかし、次第に和人商人が蝦夷地南部へ進出し、交易品の価格をめぐるアイヌとの摩擦を引き起こすようになる。1457年、アイヌは大首長 [ウ] に率いられて決起したが、この抵抗は [エ] 氏によって鎮圧された。後にその子孫は江戸幕府から蝦夷地での支配権を認められて [4] 藩をたてた。領内で米がとれない [4] 藩の財政は年貢収入ではなく、アイヌとの交易の支配権に依存するものだった。支配権を分け与えられた家臣たちは海産物を買い叩いて大きな利益をあげようとし、アイヌとの抗争も起こした。しかし [4] 藩は、江戸後期には、蝦夷地での交易を和人の商人に任せて運上金を上納させる方法でアイヌを支配した。

Ⅲ 以下の史料を読んで、あとの間に答えなさい。

【史料】

天佑ヲ保有シ万世一系ノ皇祚ヲ踐メル大日本帝国天皇ハ、昭ニ忠誠勇武ナル
汝有衆ニ示ス。

朕茲ニ 国及 国ニ対シテ戦ヲ宣ス。朕力陸海將兵ハ全カヲ
奮テ交戦ニ從事シ、朕カ百僚有司ハ励精職務ヲ奉行シ、朕カ衆庶ハ各々其ノ本
分ヲ尽シ、億兆一心国家ノ総カヲ挙ケテ征戦ノ目的ヲ達成スルニ遺算ナカラムコ
トヲ期セヨ。

…… 政府竊ニ帝国ノ真意ヲ解セス、濫ニ事ヲ構ヘテ東亜ノ平和ヲ褫
乱シ、遂ニ帝国ヲシテ干戈ヲ執ルニ至ラシメ、茲ニ四年有余ヲ経タリ。幸ニ国民
政府更新スルアリ、帝国ハ之ト善隣ノ誼ヲ結ヒ、相提携スルニ至レルモ、

ニ残存スル政權ハ、 ノ庇蔭ヲ恃ミテ兄弟尚未タ

牆ニ相關クヲ悛メス、 兩國ハ残存政權ヲ支援シテ東亜ノ禍
乱ヲ助長シ、平和ノ美名ニ匿レテ東洋制覇ノ非望ヲ逞ウセムトス。剩ヘ与国ヲ
誘ヒ帝国ノ周辺ニ於テ武備ヲ増強シテ我ニ挑戦シ、更ニ帝国ノ平和的通商ニ有ラ
ユル妨害ヲ与ヘ、遂ニ經濟断交ヲ敢テシ、帝国ノ生存ニ重大ナル脅威ヲ加フ。

……斯ノ如クニシテ推移セムカ、東亜安定ニ関スル帝国積年ノ努力ハ悉ク水泡
ニ歸シ、帝国ノ存立亦正ニ危殆ニ瀕セリ。事既ニ此ニ至ル、帝国ハ今ヤ
 ノ為蹶然起ッテ一切ノ障礙ヲ破碎スルノ外ナキナリ。……(日本外交
年表並主要文書)

(問1から問3までの解答は、すべて解答用紙(その1)を用い、問3以外は、漢
字で書きなさい。)

問1 に当てはまる語句を記しなさい。

問2 【史料】の詔書が出された時の首相は誰か、氏名を記しなさい。

問10 【史料】の詔書で始まった戦争の前に、戦争回避の交渉をするため相手国に派遣された大使を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。

- ① 松岡洋右 ② 野村吉三郎 ③ 近衛文麿 ④ 加藤友三郎

問11 交渉の期間中に、相手国に「対日石油輸出の禁止」などの強硬な態度をとらせる直接の原因となった日本軍の行動を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。

- ① 英領マレー半島奇襲 ② 北部仏印進駐
③ 関東軍特別大演習 ④ 南部仏印進駐

問12 戦争開始後、占領地域の協力を確保するため、代表者を東京に集め大東亜会議を開いたが、これに参加していない国を、次の選択肢の中から選び、マークしなさい。

- ① タイ ② ビルマ
③ フィリピン ④ オーストラリア

